



TSUBOTAJUKU

「塾生の人生を応援する」
そんなコンセプトで贈る塾通信

★今月のトピックス★

「子は親の鏡」

「過去と他人は変えられない・未来と自分を変えられる」

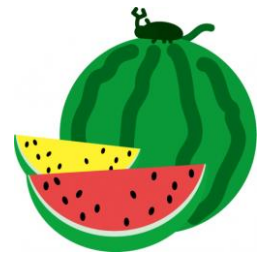
皆さんこんにちは！坪田塾です。

2018年の半分が終わりましたね！

梅雨も明け、本格的に夏が始まります。
体調をくずさないように、気を付けてくださいね！

さて、今月のトピックスも2部構成です！

ぜひ、ご一読ください！



● 7月の坪田塾カレンダー ●

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5

「子は親の鏡」

みなさんこんにちは！本郷3丁目校 講師の釜です。

二人の息子が、2歳8ヶ月と2ヶ月になりました。

言葉も増え会話がほぼ不自由なくできるようになった上の子。

最近のブームは

「かまひなたともうします～ よろしくおねがいします～」 です。

どうやら親の挨拶を見て聞いて、マネしているらしいのです。

教えたつもりもないですし、

「なんて言っているの？」と聞かれたこともありません。

自然と国語文法の難関どころ“謙譲語”を使っています。

それを聞いて妻とひとしきり笑った後、

「いつどの言葉を聞かれているかわからないな」

「これはうかつに変なこと言えないな」

と少し恐ろしくなりました。

他にも、

すべり台で後ろにたくさん並ばれると、登るのをやめて譲ってきたり、

散歩中につかれると「ちょっと乗りたくなっちゃったかな」と控えめにアピールしてきたり、

おもちゃを落としたりすると、周りに誰もいなくてもすぐ「ごめんね」と言っていたり、

「あ、これ自分のよくやるやつだな」

と感じる場面がとて多くなりました。

2児の親として、先生と呼ばれるものとして

改めて気が引き締まりました。

僕の大切にしている言葉の中に、

アメリカの家庭教育学のドロシー・ロー・ノルト博士の次の18の言葉があります。

子どもは、批判されて育つと、人を責めることを学ぶ

子どもは、憎しみの中で育つと、人と争うことを学ぶ

子どもは、恐怖の中で育つと、オドオドした小心者になる

子どもは、憐れみを受けて育つと、自分を可哀想だと思うようになる

子どもは、馬鹿にされて育つと、自分を表現できなくなる

子どもは、嫉妬の中で育つと、人をねたむようになる

子どもは、ひけめを感じながら育つと、罪悪感を持つようになる

子どもは、辛抱強さを見て育つと、耐えることを学ぶ

子どもは、正直さと公平さを見て育つと、真実と正義を学ぶ

子どもは、励まされて育つと、自信を持つようになる

子どもは、ほめられて育つと、人に感謝するようになる

子どもは、存在を認められて育つと、自分が好きになる

子どもは、努力を認められて育つと、目標を持つようになる

子どもは、皆で分け合うのを見て育つと、人に分け与えるようになる

子どもは、静かな落ち着いた中で育つと、平和な心を持つようになる

子どもは、安心感を与えられて育つと、自分や人を信じるようになる

子どもは、親しみに満ちた雰囲気の中で育つと、生きることは楽しいことだと知る

子どもは、まわりから受け入れられて育つと、世界中が愛であふれていることを知る

『子どもが育つ魔法の言葉』より抜粋

教師時代に知って「その通り！！」と思っていたこの言葉も、
親となってみると、「うっ」と突き刺さるものがあります。
できてないな～と反省する部分も多いですが、

これができていないとダメと自分を苦しめるためではなくて、
一緒に楽しく成長していくために、

今月はこの言葉を見ながら過ごしてみようと思います。

7月もよろしくお祈いします！！

「過去と他人は変えられない・未来と自分を変えられる」

こんにちは！赤萩校 講師の村瀬です！

早いものでもう7月に入り、夏休み目前ですね！

「夏」というだけで気分が上がるのは私だけでしょうか？

夏が始まることに加えて今年はワールドカップの年！ますますテンションが上がります！

さて、みなさまは、FIFAのワールドカップをご覧になられていますか？

「一回も勝つことはできない。」

「1次リーグの突破率は1~2%だろう。」

サッカーの専門家からは上記のようにも予測されていた日本代表ですが、

見事に勝ち抜いて世界のベスト16入りを果たしましたね！！

また、ベスト8をかけた試合では、

世界ランク3位のベルギーに世界ランク61位の日本が、

ベルギーよりも先に2点もゴールを決め、一時は「日本がそのまま勝ち抜くのではないか！」と

多くの人に思わせた互角の戦いでした！！！！

このように熱い試合が繰り広げられているワールドカップですが、

みなさんは、大会が始まる前に試合についてなにか予想をしませんでしたか？

例えば、

「日本代表の監督が急に変わり、新たな監督になってから2、3ヶ月しか経っていない。

⇒日本は良い結果を残せないだろう」

「ベルギーは世界ランク 3 位・日本は世界ランク 61 位
⇒ベルギーが圧勝！日本はボロ負けするだろう」
などのように。

実はこのような予想や予測、サッカーだけでなく、坪田塾で講師をしている中でも聞くことがあります。

「私頭悪いから、絶対に〇〇高校なんて行けないんだろうなあ。」

「バカだから、テストで良い点とれない！」

「前回のテスト悪かったもん。今回もむりなんだろうな。」

などなど。

これらに共通していることは、

「過去⇒現在・未来」、

過去やこれまでに基づいて未来を予想しているということです。

「監督が急に変わり、新たな監督になってから本番まで 2 ヶ月しか経っていない。(これまで)
⇒Wカップで良い結果を残せないだろう (未来)」

「ベルギーは世界ランク 3 位・日本は世界ランク 61 位 (過去)
⇒ベルギーの圧勝！日本がボロ負けするだろう (未来)」

「私頭悪い (これまで) から絶対に〇〇高校なんて行けないんだろうなあ (未来)」

「バカだ (これまで) からテストで良い点とれない！ (未来)」

「前回のテスト悪かった (過去) もん。今回もむりなんだろうな。 (未来)」

過去の自分がこれからも続くと思ってしまいますよね。

ですが、ワールドカップの日本代表の試合からも分かるように、

過去やこれまでのランクは関係ありません！

聖徳太子を「せいとくたこ」と読むほどの学力しかなかった学年でビリのギャルが、1年で慶應大学に受かる学力まで上がったり、

親や先生から「絶対むりだ！」と言われていた高校に合格する子もいたり、

模試ですっとFランク（合格の見込みがほとんどない）であった大学に入れた子もいたり、

するという事実があるのです。

また、私自身が最近感じたある生徒の大きな変化があります。

勉強が嫌いで、今までは塾でもタブレットをいじったり漫画を読んだりしていた□□くんが、先週は最後の1人になるまで教室に残り指導を受けていました。

更に、いつもは言わないのですが、

「ありがとうございました！」と帰り際に大きな声で言い、帰っていったのです。

また、□□くんが1日に勉強する量も増えています。

このことから、

いつも漫画を読んでいる（これまで）⇒今日も漫画を読み続けるだろう（未来）

という予想は全くあてにならないんだなと実感しました。

過去と他人は変えられませんが、未来と自分を変えられる

のではないのでしょうか。

「過去が〇〇だったから」ではなく、「1年後の自分はこうなっていたい」「〇〇大学に入りたい」というありたい自分の未来の姿を基準に今の行動を選んでみてはいかがでしょうか？